

整備車両の保護

作業に取りかかる前に必ずフェンダカバー、シートカバー等をつけること。

安全な作業

- (1) 車両前部または後部だけをジャッキアップする場合には、必ず輪止めをする。
- (2) 車両をジャッキアップした場合、必ずリジトラックで、決められた位置を支える。
- (3) 2人以上で作業を行うときは、声をかけてお互いの安全を確認しながら行うこと。

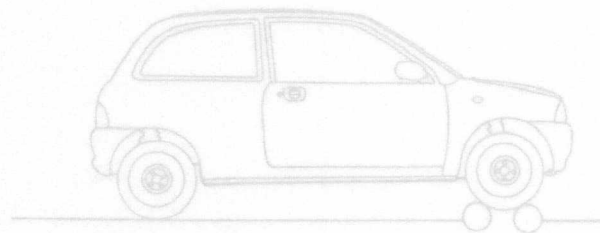
正確な作業

- (1) 不具合箇所の確認と故障原因を究明しマニュアルで示した手順で作業する。
- (2) 定められた締付トルク、調整基準等の整備基準を守る。
- (3) 定められた特殊工具の使用。
- (4) 純正品の使用



部品、油脂類、消耗品は、必ず、スバル純正部品を使用すること。

- (5) 再使用不可部品(★印)を使用しないこと。
- (6) ボルト、ナット類を交換する場合は必ず指定サイズの部品を使用する。
- (7) ゴム、チューブ類に、ガソリン、オイル、フルードなどが付着すると変質する恐れがあるので付着させないこと。万一、付着した場合は、すばやく、ふき取ること。
- (8) ブレーキ液は塗装面を傷めるので、部品類に付着させないこと。また、ゴミや水の混入、異銘柄の混用はしないこと。



無線機を搭載する場合の注意事項

各種のコンピュータ(コントロールユニット)は外部からの電波障害に対しては十分な配慮がしてありますが、車に無線機を取付ける場合は、コンピュータ(コントロールユニット)に悪い影響を与えることがあるので、次の事項をユーザーが理解をするよう説明して下さい。

- (1) 無線機本体及び、アンテナは、コントロールユニットより200mm以上離すこと。
- (2) アンテナの同軸ケーブルは、コントロールユニットやハーネスから遠ざける。又、ハーネスと交差する場合は直角になるようにすること。
- (3) 出力10W以上の無線機は搭載しないこと。

洗車機使用上の注意事項

- (1) 各コンピュータやコネクタへの洗車(特にエンジンルーム)は避けること。
- (2) 高圧洗車やスチーム洗車は、水圧、温度等で樹脂製品を変形破損させる場合が考えられるので、配慮して、洗車すること。

オプション部品取付上の注意事項

電気関係のオプション部品を付ける場合は要領書、マニュアルに従って行うが、下記の事項に注意すること。

- (1) ワイヤハーネスに過大電流が流れないように、オプション部品の電気負荷を考慮し、ワイヤハーネスのサイズを決める。負荷回路には、必ずヒューズを設定すること。
- (2) ワイヤハーネスの配索は既設ハーネスに沿わせる。
- (3) 活線回路を使用する場合、テープなどで保護し固定方法も確実にしない、他部品との接触に配慮すること。

エンジン、トランスミット	付乗安断
その他各部品	車基安断

てチマビき両車は合機大熱き断車基安断：I※
断車基安断の断車J断車基安断の断車J断車基安断
。ふす断車基安断